

企画書

『日本少年』重見周吉の世界 今治展の開催について

明治維新 150 周年の 2018 年にあたり、郷土今治出身で夏目漱石のライバルである重見周吉の展覧会を下記のとおり開催します。

重見周吉は明治維新の 3 年前、愛媛県今治に商家の平民として生まれました。漱石、子規の 3 歳年上でまさに明治の始まりと共に生きた人物です。本展覧会ではまず、漱石研究という観点から重見周吉の人物像と漱石とのライバル関係を柱の一つとし、次に重見の英文著書『日本少年』の舞台今治とその周辺が作品にどのように描写されているかをもう一つの柱とします。

前者では、20 年に亘って継続してきた重見研究の全貌を最新の発見も交えて展示し、加えて重見周吉より 10 歳若く実業家を目指して同じ北米へ向かった冒険家和田重次郎、反戦思想家水野広徳も同時代人として確認します。

後者では自著『日本少年』で重見が明治の日本の地方都市愛媛県今治の風土、生活、庶民をして欧米人に「日本」を紹介していることを検証します。

そして当時極東の島国日本を知る術の殆どなかった北米現地に赴き現地の言語である英語を使って執筆した同書出版の意義を郷土から再確認し、何より重見の出身地今治の青少年はじめ地域の皆様に明治の先達の曇りのない志に想いを馳せていただくことを目的とします。

1. 開催日時 2018 (平成 30) 年 7 月 14 日 (土) ～ 8 月 31 日 (金)

2. 開催場所 今治市立中央図書館 3 階ギャラリー

3. 展示内容

第 1 部：

- ①挨拶パネル (愛媛県知事、松山市長、今治市長、元倫敦漱石記念館館長、漱石の曾孫、主催者 NPO 法人アイム松山理事長)
- ②明治時代にグローバルに活躍した同郷人の比較年表パネル
- ③学習院教授職応募履歴書、同志社大学新島襄資料館所蔵の新島襄書簡、今治教会安息日学校名簿、エール大学重見ファイルの発見資料、同医学部歴史図書館で発見した博士論文をはじめ、調査収集した各種資料を写真パネルにしたもの
- ④夏目漱石と重見周吉とのライバル関係を示す根拠となる『私の個人主義』漱石全集の該当ページを表示

第 2 部：

- ①ロンドンで発見した原書
- ②北米で紹介された原書の書評
- ③重見周吉研究を開始して以来報道された各種新聞記事
- ④今治周辺関連地図パネル
- ⑤原書発見のきっかけとなった倫敦漱石記念館写真パネル
- ⑥『日本少年』” A Japanese Boy by Himself” の内容を、章毎に実際に描写されている今治とその周辺の現在の姿と照らし合わせながら紹介
- ⑦ビデオ資料 3 点：南海放送ニュースレポート映像 (約 5 分)、今治 CATV 講演録画番組「ミテミトン」(約 1 時間)、「今治明德高校矢田分校創立 100 周年記念制作番組

(約 37 分) のビデオ上映 (ただし会場の都合で難しい場合断念する)
⑧同時代のアラスカ、カナダ開拓者和田重次郎パネル

4. 展示のために借用するもの (写真)

同志社教会：会員名簿

同志社大学：池袋清風日記

イエール大学ポーター学長から新島襄宛の書簡

学習院大学：重見周吉修学履歴書

重見周吉辞令簿

重見周吉授業時間割

輔仁会雑誌 (29、31、36、44 号)

慈恵会医科大学：八十五年史、百年史、2017 年新発見の全身写真

イエール大学：重見周吉最初期の墓写真、

重見周吉 Obituary

S S S 同窓会書簡、送金記録

医学部博士論文の一部 (以上全て菅紀子撮影写真)

5. 主催：NPO 法人アイム松山

6. 後援：愛媛県、愛媛県教育委員会、松山市、松山市教育委員会、今治市、今治市教育委員会、愛媛県文化振興財団

7. 協力：NPO 法人和田重次郎顕彰会、日本英学史学会、東京慈恵会医科大学、学習院大学、愛媛日英協会、創風社出版、岩波書店、松山大学、愛媛大学、今治明德学園、(有) クラパムコモンカンパニー、今治商工会議所、今治法人会 (以上予定を含む)

8. 併催として 8 月 26 日 14 時~16 時 本展覧会主催により本展覧会場 2 階視聴覚室にて、重見周吉研究者菅紀子により”「日本少年」は「今治少年」重見周吉の人物像”と題した記念講演会を行う。

2018 年 5 月 31 日

企画者 NPO 法人アイムまつやま理事長 菅 紀子